



北海道情報大学 同窓会会報

第9号

発行

北海道情報大学 同窓会

進化し続ける 北海道情報大学

経営情報学部

学部長 森澤 好臣



北海道情報大学のキャンパスは、新しい10階建ての校舎（eDCタワー）の活用が開始され、学習環境は飛躍的に良くなりました。充実した図書館、整備された大学院生フロア、自学自習環境の充実、新しいゼミ室、新しい講義室そしてカフェレストランと施設と教育環境が更に充実しました。卒業生の皆さん、機会を見つけて訪問してください。

ご承知の通り北海道情報大学は平成元年4月に経営情報学部の中に経営学科と情報学科の1学部2学科の大学として設立されました。平成6年に通信教育部の開設、平成8年に

大学院の開設、平成13年に情報メディア学部の開設、平成18年に経営情報学部医療情報学科の開設、と進化し続けています。

経営学科は、時代の流れを先取りして経営ネットワーク学科、そして先端経営学科と名称を進化させています。また教育カリキュラムも、四つの履修モデルで育成する人材像を明確にした実践的な知識とスキルを身につけることができるように配慮しています。経営学科および経営ネットワーク学科と先端経営学科を卒業した学生は第1期生から第19期生まで総勢1,792名になりました。

情報学科はシステム情報学科と改名されています。また、教育カリキュラムも、四つの履修モデルで育成すべき人材像を明確にした実践的な知識とスキルを身につけることができるように配慮しています。情報学科およびシステム情報学科を卒業した学生は第1期生から第19期生まで総勢1,920名になりました。

平成18年に経営情報学部の中に医療の知識とITの知識を持った人材を育成するために医療情報学科が新設されました。教育カリキュラムも、四つの履修モデルで育成すべき人材像を明確にした実践的な知識とスキルを身につけることができます。平成21年度に

第1期生、そして平成22年度に第2期生が巣立ちました。今はまだ92名の小さな集団ですが、医療とITの知識を持った専門家として大きく羽ばたいてくれるものと期待しています。

情報メディア学部は、情報メディア学科の1学科構成でしたが、学科の中にメディアデザイン専攻とメディアテクノロジー専攻が設置され、教育プログラムもメディアデザイン専攻の中に、四つの履修モデルで、そしてメディアテクノロジー専攻の中にも四つの履修モデルで育成すべき人材像を明確にした実践的な知識とスキルを身につけることができます。情報メディア学部の卒業生は、第1期生から第7期生まで総勢1,041名になりました。

通信教育部は、経営情報学部経営学科と情報学科の1学部2学科体制で発足し、通学課程の進化に合わせ経営ネットワーク学科とシステム情報学科に学科名を変更しました。通信教育部を卒業した学生は、1期生から14期生まで総勢8,296名の大集団になりました。

時代の要請や大学の発展・進化により教員に求められる資質も変化しています。より実践的な教育を展開

するために産業界で活躍された技術者が教育現場に参画するようになりました。開学当初は、北海道大学で活躍された先生が多かったのですが、東京大学、名古屋大学、岡山大学、広島大学、早稲田大学等々と様々な大学で活躍されていた先生が参画されています。また、産業界からも、NHK、ソニー、日本電気、日本IBM、日本ユニシス、SCC等で活躍された技術者や、医者、映画監督、ゲームクリエイター等の専門家が参画されています。多士多彩な先生による授業が、学生に良い結果を与えているものと確信しています。

平成21年6月に1年次に入学する中国人学生の入学試験のために南京大学に出張する機会がありました。南京大学構内の大通りを跨ぐ大きな真つ赤な横断幕に、金文字で次の言葉が書かれていました。「今日我以南大為榮 明日南大以我為榮」(意訳…現在は私が南京大学を誇りに思いますが、将来は南京大学が私を誇りに思うでしょう)。

この横断幕を見て、教育の一端を担うものとして、卒業生が母校を誇りに思い、母校が社会で活躍する卒業生を誇りに思うような大学であり続けるように、時代を先取りして進化し続けるべきと思いました。

「今日我以情大為榮 明日情大以我為榮」であるように、在校生、教職員、そして卒業生の皆さんと共に、いつまでも誇れる「北海道情報大学」を目指して進化し続けます。